

墨田区立図書館

・コミュニティ会館図書室

Newsニュース



図書館電話案内サービス

TEL : 3 6 1 2 - 6 0 4 8

図書館探検隊!

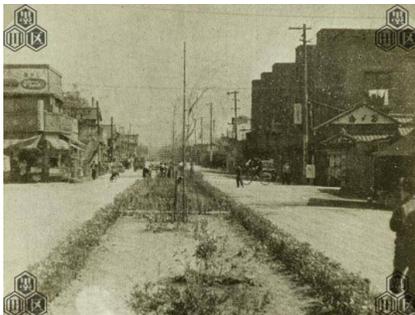
Webギャラリーってなあに?

スカイツリー建設に伴い、すみだの町々の姿はずいぶん変わってきていますが、なつかしいすみだの町々の姿を見たい...なんて思ったことはありませんか?

このような時は、墨田区立図書館ウェブサイト内のWebギャラリー「すみだの町々」を是非ご覧下さい。

こちらでは、墨田区立図書館とすみだ郷土文化資料館で所蔵する写真、フィルム、紙資料等をデジタル化したデジタル写真が閲覧できます。1940年代からのデジタル写真が100枚以上所蔵されています。

今後、デジタル写真を増やしていく予定です。



1957年頃の曳舟川通り



1966年頃の旧緑図書館

資料のご利用については、「画像データの利用について」をお読みの上所蔵先にお問合わせ下さい。



藤本ともひこ氏による「**絵本ライブ**」を開催します。

日時：平成24年2月5日(日曜日) 午前10時30分～正午

場所：すみだ中小企業センター(あずま図書館)5階 会議室2・3

(住所：墨田区文花1-19-1)

対象：子どもと保護者

定員：先着60名 当日直接会場へ



(交通機関)
東武亀戸線「小村井」駅
徒歩8分

こんにちは。

緑 図書館 です。

場所 墨田区緑 2 - 24 - 5
電話 3 6 3 1 - 4 6 2 1

緑図書館



墨田区立緑図書館は、両国国技館や江戸東京博物館があり、江戸文化の伝統が息づく両国にあります。最寄り駅は、JR 総武線・都営大江戸線両国駅（徒歩10分）です。

次のようなコーナーを用意して、皆様の来館をお待ちしています。

児童コーナー

コーナーの一角でお話会「おはなしの部屋」を毎月行っています。また乳幼児のための本を集めた「あかちゃんコーナー」や「こども専用席」を用意しています。



ヤングアダルトコーナー

中高生、10代のためのコーナーです。

子どもの本を卒業した10代の人のための本を集めました。



学習室

図書の閲覧や、学習にご利用になれます。(座席数 64)



「参考図書コーナー」には墨田区に関する郷土資料・行政資料を多数揃えています。また1階では、毎月緑図書館で開催される「すみだ文化講座」にちなんだ資料の展示をしています。



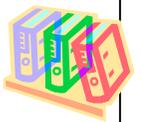
ベストリクエスト

順位	書名	著者	予約数
1	謎解きはディナーのあとで	東川篤哉著	350
2	麒麟の翼	東野圭吾著	340
3	マスカレード・ホテル	東野圭吾著	337
4	下町ロケット	池井戸潤著	311
5	人生がときめく片づけの魔法	近藤麻理恵著	270
6	ジェノサイド	高野和明著	257
7	真夏の方程式	東野圭吾著	250
8	謎解きはディナーのあとで 2	東川篤哉著	209
9	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海著	163
10	県庁おもてなし課	有川浩著	161

寄贈のお願い

予約が集中している資料については、複数冊購入していますが、早期の提供ができない状況です。上記の予約多数図書で、読み終えてご家庭でお持ちのものがありましたら、図書館への寄贈をご検討下さい。ご寄贈いただける場合は、お手数ですが、図書館・コミュニティ会館にお越しの際にお持ち下さい。お持ちいただいた本は、図書館の資料として活用させていただきます。

私の本棚



『勝間和代の

インディペンデントな生き方

実践ガイド』

勝間和代/著 ディスカバー・トゥエンティワン

勝間和代という女性をみなさんは、ご存知でしょうか？簡単に彼女の経歴を紹介しますと、1968年東京生まれ、慶応義塾大学卒、公認会計士二次試験を当史上最年少の19歳で取得後、21歳で長女出産。フルタイムの仕事をしつつ3人の子どもを育てながら、中小企業診断士試験などの難関資格やファイナンスMBAを取得。勤め先も監査法人から外資系企業に転職。その後公認会計士、戦略コンサルタント、証券アナリストを経て経済評論家に独立という経験を持つ女性です。この著者が書いた本も数多く出版されています。私が彼女の本を知ったのは、『起きていることはすべて正しい』（2008年ダイヤモンド社出版）です。図書館でも多数のリクエストがあり、店頭でも平積みになされベストセラーになり彼女の存在を知りました。この本は「メンタル筋力トレーニング案内」と本の帯にも紹介されていますが、様々な方法や考え方でメンタル強化の方法を案内しています。『勝間和代のインディペンデントな生き方実践ガイド』は、私がよく行くブツ

ックオフで見つけた本ですが、タイトルの「インディペンデント」ってどういう意味だろう？と思い読み進めていくと、精神的にも経済的にも周りに依存しない生き方「自立」の意味でした。いい感じに自分の生活と仕事のバランスをとりながら、しかも自由に生きていけて、稼げる女がインディで、その反対がウエンディと著者は例えています。誰でもこの本の内容を実践し習慣化すれば、インディな女性になれると説いています。その実践方法の一つに、「仕事の場の外で学び続ける 読書」という項目があります。読書そのものが目的ではなく、読書により本、新聞、雑誌などから、職場では入りにくい情報を手に入れることで、その人の仕事の幅を左右し、チャンスを決定すると書いてあります。私自身も仕事場でヒントや情報が知りたい時、子育てで悩んだとき、人生の「ちょっと困ったな」と思うことがあっても、常に本や雑誌などでヒントをもらい、元気をもらっていたなど、この項目を読んで思い出しました。図書館はそういう意味でも新聞、雑誌、書籍などの情報があふれている、すばらしい場所であると感じました。この本の巻末に著者がおすすめする20冊を少しずつ図書館にリクエストし隙間時間で読み進めている私です。

(ブックサークル 玉手箱 えとよん)

今月の特集コーナー

館名	今月の特集コーナー
あずま図書館	一般書：「絵本論&イラストの世界」 ヤングアダルト〔Y・A〕：「チョコもいいけど・・・」 児童書：「おかしの本」 窓ぎわの児童書：「和のえほん」
緑図書館	一般書：「この賞が気になる！」 ヤングアダルト〔Y・A〕：「チョコっと ほっと」 児童書：「おかしにゃーおはなし」
寺島図書館	児童2室：「恐竜」
立花図書館	一般書：「愛する日本」 児童書：「挑戦者」 えほんのひろば：「図書館員おすすめ絵本」
八広図書館	一般書：「神秘の宇宙」「犯人は誰？」「確定申告」「バレンタイン」 児童書：「雪・氷」
東駒形コミュニティ 会館図書室	一般書：「元気力」 児童書：「冬のえほん」「かわいいどうぶつ大集合」
梅若橋コミュニティ 会館図書室	一般書：「手作りお菓子」 児童書：「ゆかいなえほん」
横川コミュニティ 会館図書室	一般特集1：「墨田区ゆかりの...」 一般特集2：「脳健康寿命を延ばしましょう！」 児童特集：「きょうりゅう かいじゅう」

東京都より感謝状が贈られました！

平成23年11月5日、東京都からボランティア活動団体「ブックトークの会」の活動について感謝状が贈られました。

ブックトークの会は、墨田区の小学校で学年にあったテーマを決めて、読み聞かせを含む本の紹介（ブックトーク）をしています。



ボランティア団体「ブックトークの会」が第三吾嬬小学校で読み聞かせをしている様子です。

音訳者養成講座が行われました。

平成24年1月18日、都立中央図書館などで活躍されている音訳者遠藤美枝子氏を講師にお招きし、すみだ中小企業センターで音訳者養成講座（中級）が行われました。

墨田区では、障害者サービスの一環として、視覚障害者などの方を対象に、録音図書や録音雑誌の作成や貸出し、対面朗読などのサービスを行っております。この講座では、音訳に必要な技術を習得し、視覚障害者の方に分かりやすい録音図書を作成してもらうことを目的に行われています。今回の講座では、初級講座修了者及び現在音訳奉仕者として活動されている方が28名参加されました。

音訳とは・・・

文字で書かれた図書や雑誌を音声化し、CDやカセットテープ等に録音すること



音訳者養成講座（中級）の講義の様子です。

すみだの歴史

くんじたいい しげただ ちしまかいたく

郡司大尉(成忠)の千島開拓

明治8年、日露全権大使の榎本武揚とゴルチャコフによって、樺太千島の交換条約が締結されました。多くの日本人が居た南樺太の権利を放棄するかわりに、北海道の根室からカムチャツカ半島の間にある千島列島の全てが日本の領有となったのです。

しかし、千島全島の居住者3800人余のほとんどが国後・エトロフ島に住んでいて、北千島は無人化していました。そこで、アメリカなど外国の船が北千島を拠点として密漁していましたが、多くの日本人はこの豊かな漁場に無関心でした。

郡司大尉は、予備役の海軍の兵士たちが就職に困っているのをみて、彼らの中から志願者を募り報効義会を組織します。かれらを連れて北千島に住み、領土の安全と漁場の開拓を図ろうとしたのです。海軍の艦船を使用することは、日清戦争前の状況下で断念せざるを得ず、払い下げられた端艇(ボート)5隻で隅田川の言問いの岸から、北千島占守(シムムシユ)島を目指して出発します。明治26年3月20日の事です。言問い団子の店の裏手に帝大の艇庫があり、その棧橋から出発したのですが、隅

田川両岸の土手には鈴なりの群集が集り、花火が揚がり楽隊の演奏が響くなか、まさに英雄として送り出されたのです。郡司大尉である郡司成忠の弟、幸田露伴は横須賀までボートに同乗して見送っています。わずかなボートで千島に向おうとする哀れさと、横須賀で軍艦に鈴なりの兵士が最高の礼で郡司らを迎えたことに、露伴は涙を止めることができなかつたと述懐しています。

郡司大尉は何度か北千島占守島に向っています。一度目は隅田川から出発した観測を主とした探検であり、この時は、後に南極探検で有名な白瀬少尉も同行しています。日清戦争に従軍した後の、戦争明治29年4月には船を修繕し大阪から二度目の出発をしています。郡司成忠の家族も一緒に永住する覚悟でした。郡司大尉は家族の戸籍を明治29年8月11日付けで、南葛飾郡寺島村から占守島に移しています。北海道庁参事官の報告によれば、占守島に49名、隣の幌筵(ポロモシリ)島に43名が居住し、明治32年度報効義会の事業として、紅鱒125石、鱒173石、鮭11石、アザラシ64頭、狐474頭、熊12頭、ジャガイモや野菜5048貫匁を収穫しています。それでも、極寒の地では食料が不足し、一日一人七合の米が必要とされました。男子は狩猟の楽しみもありますが、女子は家の中で麻

捻じりなどして外出もままならず読書する本などが必要と、郡司大尉の父成延は支援者に手紙を書いています。

郡司大尉は明治34年に資金集めのため一時帰京し、将来を担う少年の隊員を連れて再び、占守島に向います。明治37年の日露戦争の時、郡司大尉は19名の義勇隊を編成してカムチャツカに進撃しますが、騙し討ちにあい捕縛されます。郡司大尉はロシアの収容所から日露講和に当たる小村寿太郎全権大使にあて、北洋漁業権の獲得を訴えました。郡司大尉は占守島を拠点として、その後、日魯漁業や大洋漁業、日本水産など大会社が進出する道を拓いたのです。北洋への情熱は次男の千早が継ぎ、長男はロシアのウラジオストクで副領事となつていきます。幸田文は「夕日と鮭」という短いエッセイで伯父郡司成忠の思い出に触れています。文が十歳の頃、隅田川の言問いの岸辺で、不機嫌なくらい黙って夕陽にきらきらする川下のほうをじっと見ていた伯父、そして「ゲンジベニ」というのを思い出したというのです。「ゲンジベニ」とは北洋で獲れる紅鮭のことで、郡司大尉の郡司をつけて戦前までは郡司紅という呼び方があったというのです。2月、郡司大尉の千島開拓について、曾孫舟川はるひさんの講演と資料展が緑図書館であります。案内をご覧の上、ぜひご来館ください。(松島)

緑図書館(すみだ文化講座)と 資料展【2月】

すみだ文化講座 150

「郡司大尉の千島開拓」

講師：舟川はるひ氏

(郡司大尉曾孫・日露交流史研究者)

日時：2月12日(日)

場所：緑図書館3階学習室

資料展

「郡司大尉の千島開拓」

ミニ資料展

「森鷗外 生誕150年」

期間：2月4日(土)～2月26日(日)

場所：緑図書館1階、3階展示コーナー

墨田区立図書館・図書室2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
<p>8日(水曜日)の緑図書館の「こうさく会」は『つるしびなをつくろう』です。 22日(水曜日)のあずま図書館の「こうさく会」は『おひなさまをつくろう』です。 12日(日曜日)の緑図書館の「すみだ文化講座」は、一般向けの行事です。詳細は、『5ページ』をご覧ください。 行事の詳細は、各館に直接お問合せください。</p>			<p>1 東「おはなしれっしゅ」10:30~ あ「おはなしのじかん」15:15~</p>	<p>2 緑「小さい子どものためのおはなし会」10:30~</p>	<p>3 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>4 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 東「おはなしのもり」15:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
<p>5 あ「絵本ライブ」10:30~</p>	<p>6 東・梅・横 コミュニティ 図書室休館</p>	<p>7</p>	<p>8 八「おひざでえほん」11:00~ 緑「こうさく会」15:15~</p>	<p>9</p>	<p>10 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>11 建国記念の日 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~</p>
<p>12 緑「すみだ文化講座」14:00~</p>	<p>13</p>	<p>14</p>	<p>15 あ「おはなしのじかん」15:15~ 緑「おはなしのへや」15:15~</p>	<p>16 館内整理日 全館休館</p>	<p>17 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>18 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
<p>19 あ「小さい子どものためのおはなし会」11:00~</p>	<p>20</p>	<p>21</p>	<p>22 あ「こうさく会」15:15~</p>	<p>23  すみだファミリーデー 毎月25日はすみだファミリーデー</p>	<p>24 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>25 八「おはなしひろば」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
<p>26</p>	<p>27</p>	<p>28</p>	<p>29</p>			

あずま図書館
 文花 1-19-1
 電話:3612-6048

緑図書館
 緑 2-24-5
 電話:3631-4621

寺島図書館
 東向島 3-34-4
 電話:3611-4610

立花図書館
 立花 6-8-1-101
 電話:3618-2620

八広図書館
 八広 5-10-1-104
 電話:3616-0846

**東駒形コミュニティ
 会館図書室**
 東駒形 4-14-1
 電話:3623-1141

**梅若橋コミュニティ
 会館図書室**
 堤通 2-9-1
 電話:3616-1101

**横川コミュニティ
 会館図書室**
 横川 5-9-1
 電話:5608-4500

すみだ女性センター
 押上 2-12-7-111
 電話:5608-1771

【開館時間】 火曜日~土曜日・・・9:00~20:00
 日曜日・月曜日・祝日・・・9:00~17:00
 コミュニティ会館図書室は、月曜日の開館時間が 9:00~20:00 です。

【休館日】 館内整理日《毎月第3木曜日(祝日にあたる場合は翌日)》、年末年始
 コミュニティ会館図書室は、毎月第1月曜日も休館日です。